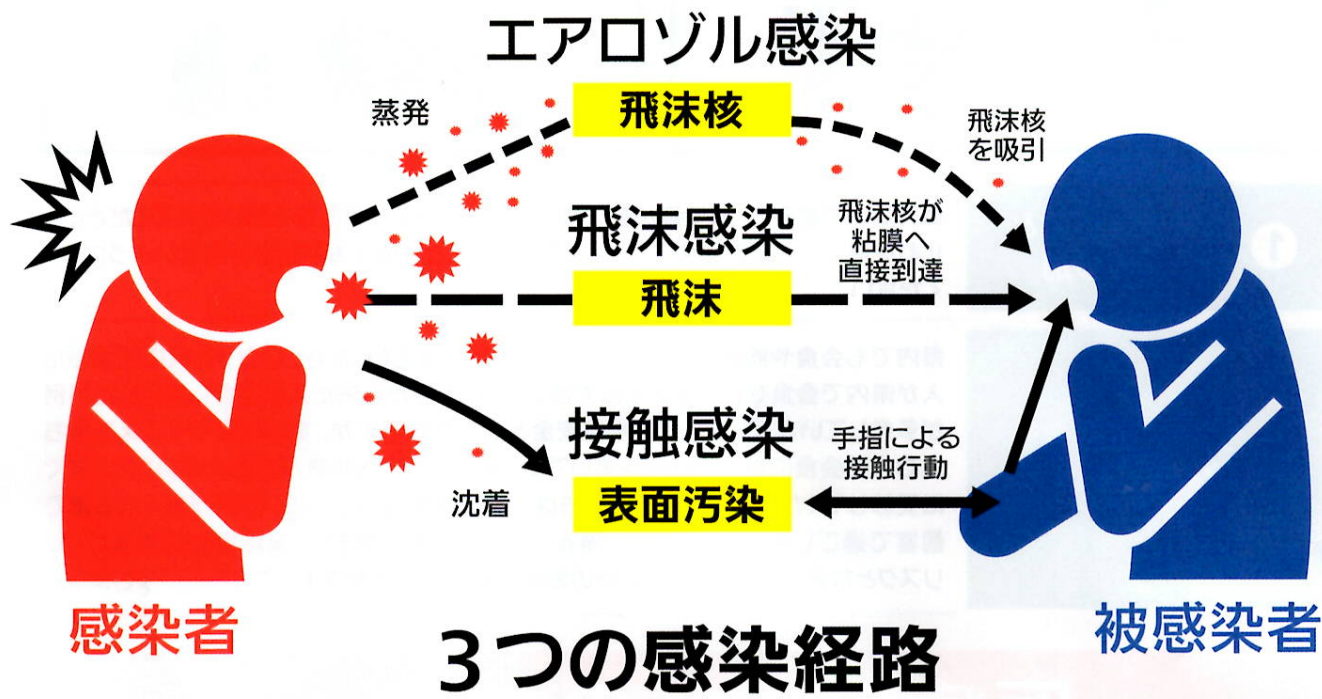


新型コロナウイルス感染症 感染経路



上の図のように新型コロナウイルスの感染経路は主に3つが考えられています

特に飛沫感染が一番多いと思われます。飛沫が飛ぶ距離は1~2mです。どちらか、あるいは両方がマスクなしで、1~2m以内でいる場面といえば、会食※や飲み会、家の中です。これまでのクラスター発生事例を見ると、会食以外でも「マスクをつけず、近距離で長い時間接する」ことで感染を拡大させることがはっきりしています。この病気の検査は、鼻の奥に綿棒を入れたり、唾液を採取して行いますが、「そこ」にウイルスがいるのです。マスクなしでくしゃみや咳、大きな声でしゃべったり歌ったらどうなるか、想像してみてください。

※ここでの「会食」とは、いつも一緒にいない別のグループと食事などをすることです。同居している家族と外食することは含みません（家庭内の食事とリスクはあまり変わりません）。会食というと夜にお酒と一緒にご飯を食べる場面を想像しますが、昼ごはんでも、1時間くらいの茶飲み話でも同じです。

うらへ続く 

感染拡大の場面

ウイルスを持ち込む場面はこんなとき

① 県外への移動と 会食への参加



② 県内での会食や 飲み会、家の中



① 県外への移動と 会食への参加

感染情報を鑑みて、感染者が多い場所への移動や会食はできる限り控えてください。止むを得ず移動する場合には、マスクなしで人と接触する場面を作らないようにしてください。

② 県内での会食や 飲み会、家の中

県内でも会食や飲み会への参加はできる限り控えてください。ウイルスに感染した人が県内で会食をして感染を拡大させたり、県外から来た人と会食し感染した事例が多発しています。また家の中は安全と思いがちですが、家の中にウイルスを持ち込むのは会食に参加した方が多いです。風邪症状の人や熱がある人がいたら、すぐに受診してください。体調不良の方は一緒に食事をしないで、症状が良くなるまで個室で過ごしましょう。無尽、帰省（県内の移動も含む）、親戚同士の集まりは、リスクとなるので、山梨県や近郊の都県の感染拡大がおさまってから行いましょう。

医療者からのお願い

新型コロナウイルス感染症は、風邪やインフルエンザとは違い、高齢者や基礎疾患を持っている方に重症の肺炎を引き起こす恐ろしいウイルスです。

一方で若年者では重症になりにくいいため、感染しても平気だと思っている方もいるように感じます。

このような一部の若年者や高齢であっても飲み会や会食を行なっている方が感染することにより、日頃気をつけて生活をしている家族にも感染を広げてしまう事例が多く見受けられます。

家族内感染などの結果、人工呼吸器やECMOがないと命が保てず、最終的に命を落とす患者さんもいます。

私たち医療従事者は新型コロナウイルス感染症に限らず、通常の医療を提供することで市民の皆さんの生命や健康を守るために、日夜を問わずに働いております。

新型コロナウイルス感染症患者さんの診療を行なっているものは、心理的な不安やストレス、そして誹謗中傷にも負けず、よい医療を行うよう努力しています。

新型コロナウイルスの感染が拡大すれば、心筋梗塞や脳卒中などの患者さんへの適切な治療を行う余裕が徐々に失われていきます。

どうか、自分のことだけでなく、愛する家族や自分の身の回りの人々のことも考えて、日々の生活を送ってください。

一般社団法人 甲府市医師会

令和3年1月作成

監修:三河貴裕
山梨県立中央病院
総合診療科・感染症科部長